



見沼区 春岡小学校 教諭 西村 真規

1 はじめに

本校は、平成23年度から「国語力向上」を目指した学校課題研究を進めてきている。その中で、「国語力向上」の一助として日本新聞協会から「NIE実践推進校」として指定を受け、今年度で2年目を迎える。

2 主な取組

(1) 「1面読み比べコーナーの設置」

毎朝届く新聞を多くの児童の目に触れさせる工夫として「1面読み比べコーナー」を設置した。



その中で、各新聞社の取り扱う写真や見出しの違いに気付く児童が多く見られた。

(2) 新聞を活用した授業の実践

①文字さがし（漢字・カタカナ）



新聞の中から既習の漢字やカタカナなどを設定時間内にいくつ探せるかをゲーム的に行った。その中で、自然に、新聞の見出しや記事に触れることができた。

②4年生：国語「新聞を作ろう」

4年生の「新聞を作ろう」の学習では、児童1人ひとりが新聞を持ち寄り、新聞の特徴や工夫を発見し、それを自分たちの新聞づくりに生かす学習を行った。実際に新聞記者の方（朝日小学生新聞）に来てもらい、新聞記事を書くときの工夫などを聞かせてもらうこともできた。



授業の様子が新聞に掲載されました



実際に児童が書いた新聞

③6年生：国語「平和について考える」

6年生の「平和について考える」の単元では、2年間で「意見文」と「スピーチ」という2つのスタイルで新聞を利用した授業を行った。



新聞記事から自分の考えをもつ



記事を自分の考えの根拠として用いる

④6年生：算数「資料の調べ方」

算数の「資料の調べ方」の学習では新聞のグラフを用いて自分の考えを発表する学習を行った。



3 おわりに

新聞を積極的に教育活動に取り入れることで、子どもたちが少しずつ社会で起きていることに目を向けられるようになってきた。また新聞からの情報を活用して自分の考えをもつことができるようになった。

今後も「世の中を見る窓」としての新聞を大いに活用していきたいと思っている。